

昭和45年度茶樹関係除草剤・生育調節剤

試験成績概要

農林省茶業試験場 青野英也

昭和45年度における茶樹関係除草剤・生育調節剤の試験件数は、除草剤3種類・生育調節剤2種類で、茶試、同枕崎支場、埼玉県茶研、京都府茶研、福岡県茶指、宮崎県総農試の9場所が担当し、昭和46年2月20日茶業試験場で成績検討会が行なわれた。以下この検討会で集約された成績の概要を報告する。

昭和45年度茶樹関係除草剤・生育調節剤試験成績判定表

I 除草剤

薬 剤 名	有効成分及含有率	判 定	内 容	委託会社名
トリフルラリン (トレフアノサイド粒剤2.5)	$\alpha\alpha\alpha$ -トリフルオール-2,6-ジニトロ-N, N-ジプロピル-4-アミノウェンジン 2.5%	実用化・継続	イネ科雑草優占地帯のうね間表面施用(15g/a) 土壌処理, イネ科作物の間作はしない。 継続検討事項として, 土壌混和の有無と根の薬害との関係を明らかにする。	塩野義製薬
M&B 9057 (アーザラン液剤)	メチル4-アミノベンゼンシル フォニル カルバメイト37%	実 用 化	イネ科雑草優占地帯において, メヒシバの発芽期~発芽初期に40~60g/aを土壌処理, その際茶樹には散布しないこと。	塩野義製薬
M & B 9057+ SAH29	M&B9057 ; 前掲 SAH-29 ; 未公開	継 続	使用量, 雑草の発生程度と殺草効果との関係等を中心に継続検討。	塩野義製薬

II 生育調節剤

薬 剤 名	有効成分及含有率	判 定	内 容	委託会社名
I B A (オキシベロン液剤)	インドールブチリクアシド 0.4%	継 続	500PPm以下の低濃度を中心に, 散布時期, 回数等について継続が必要。	塩野義製薬
G-431液剤	5-クロル, インダゾール-3-酢酸	実用化・継続	ふじみどり, やまなみの両品種について, 濃度500PPm, 3時間浸漬で実用化, 継続事項として品種別適性濃度の検討。	日産化学

I 除 草 剤

1. トリフルラリン(トレフアノサイド粒剤 2.5)

トリフルラリンの土壌処理による抑草効果はかなり顕著で、効果の持続期間は相当長いようであるが、メヒシバ以外のツユクサ、タデ等に対する効果がやや劣ったので、メヒシバ優占地帯を対象に実用化することとした。また、表面散布と土壌混和との効果比較では、1~2の場所では土壌混和のほうが、表面散布より高い抑草効果を示したが、両処理間に差のみられない場所も2~3みられたので、実用化にあたっては、うね間に表面散布することとした。

また、本除草剤を株元に散布した場合、茶の根の発育に阻害作用のあることが報告されているので、継続検討事項として、トリフルラリンの施用量、年間の施用回数、あるいは土壌混和の有無等と茶の根の生育との関係を、調査する必要のあることが指摘された。

2. M & B 9 0 5 7 (アーザラン液剤)

全般に対照薬剤C A Tより抑草効果が長期的であるが、カヤツリグサ、イヌタデ等に対しては効果がやや劣る傾向がある。また、メヒシバの発芽前の土壌処理より、草高2~3 cm、葉数1~2葉の発生初期のほうが、効果はまさるようである。散布にあたって茶葉に付着した場合に葉害を生ずるので、この点を充分注意することによって、a当たり40~60gの施用量で実用化することとした。

3. M & B 9 0 5 7 + S A H - 2 9

M & B 9 0 5 7, S A H - 2 9の薬剤量、およびS A H - 2 9の添加の有無等を中心として、茎葉処理による殺草効果を検討しており、非イネ科雑草のカヤツリグサ、アゼテンツキ、ザクロソウ等に対する効果は劣った。しかし、メヒシバに対しては緩効的であるものの、比較的效果は高く、その持続期間も長期的であった。ただ、M & B 9 0 5 7の単用に対するS A H - 2 9添加の効果が、各場所ともそれほど判然とせず、一部場所で実用化できるとの評価もあったが、薬量の検討等も含めて継続検討が必要とされた。

II 生育調節剤

1. I B A (オキシペロン液剤)

茶の定植苗の発根、生育促進に対するオキシペロン散布の効果を検討するため、ほ場あるいはポット、根箱等を用いて、定植当日500~2000のオキシペロンを定植苗に散布した。その後定植当年の根の発育、地上部の生育状況を調査した結果、500 P P m程度の低濃度ではやや効果がみられたが、1000 P P m以上の高濃度で地上部、地下部の生育ともに、かえって生育が抑制され、活着率も劣る傾向が認められた。したがって、この試験については、オキシペロンの濃度をより低濃度にとり、品種、散布回数等を組み合わせて、継続検討し直すこととした。

2. G - 4 3 1

茶のさし木の発根およびその後の生育を促進するため、さし穂を100~1000 P P mのG - 4 3 1溶液に30分~3時間全体浸漬、ま

たはさし木後葉面散布している。その結果、さし木の発根、生育は500PPmのG-431に、3時間全体浸漬した場合、最も顕著な効果がみられた。したがって、この条件下では充分実用化され得るものと判断された。

しかし、さやまみどり等一部の品種では、対照薬剤NAAのほうがまさる傾向を示していたため、実用化にあたっては、ふじみどり、やまなみの2品種に限定し、品種別適性濃度の検討を継続事項とした。

新 登 録 除 草 剤 一 覧

農 林 省 農 政 局 防 疫 課

(昭和46年1月1日～昭和46年4月30日)

分 類	種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤 型	使用対象	登録会社
ホルモン型 除草剤	フェノチオール除草剤	ゼロワン粒剤	2メチル-4-クロロフェノキシ酢酸S-エチル 1.4%	粒 剤	移植水稻	北 興 化 学
	非ホルモン型除草剤	MCC除草剤	ホクコースエツブ水和剤	水和剤	水稻, 陸稻, とうもろこし大豆	同 上
		ホクコース粒状スエツブ	メチル-N-(3,4-ジクロロフェニル)カーバメート 15.0%	粒 剤	陸稻, らつかせい	同 上
	DCBN除草剤	兼商プレフィックス粒剤	2,6-ジクロロチオベンザミド 3.0%	粒 剤	い草	兼 商
	DCMC除草剤	ダイロン	3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素 80.0%	粉 剤	陸稻, らつかせい, 大豆等畑作物, 茶, 桑, 果樹	保土谷化学
	DPA除草剤	日産ダウボン微粒剤	2,2-ジクロロプロピオン酸ナトリウム 20.0%	微粒剤	林地 開こん地	日 産 化 学
		石原ダウボン微粒剤	同 上	同 上	同 上	石 原 産 業
		「保土谷」ダウボン微粒剤	同 上	同 上	同 上	保土谷化学
	IPC除草剤	三共クロルIPC粉剤	イソプロピル-N-(3-クロロフェニル)カーバメート	粉 剤	てんさい (直播)	三 共
		同 上	同 上	同 上	同 上	北 海 三 共
	プロマシル除草剤	ハイバーX粒剤1.5	5-ブロム-3-セコンダリーブチル-6-メチル-ウラシル 1.5%	粒 剤	みかん	三 笠 産 業
	TCA除草剤	ゲルバー	トリクロロ酢酸カルシウム 35.0%	粒 剤	林地 開こん地	日本カーリット
	TCTP除草剤	キングダクトール水和剤	2,3,5,6-テトラクロロフタル酸ジメチル 75.0%	水和剤	芝(こうらいしば, のしば)	ギング化学
混 合 剤	MCC・MCP除草剤	ホクコースエツブM粒剤1.5	メチル-N-(3,4-ジクロロフェニル)カーバメート 15.0% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル 0.70%	粒 剤	水 稻 (移植栽培)	北 興 化 学